

建設ロボットフォーラム 2013
－ 明日の日本を創る建設ロボット －

■会 期：2013年（平成25年）10月11日（金）13：00～17：00

■会 場：公益社団法人土木学会講堂

（東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内、TEL：03-3355-3441）

（JR中央線、地下鉄丸ノ内線・南北線「四ツ谷駅」下車徒歩5分）

■主 催：建設ロボット研究連絡協議会、公益社団法人土木学会建設用ロボット委員会（順不同）

■参加費：5,000円

■定 員：120名（定員になり次第締め切らせて頂きます。）

■趣 旨：

今般、建設ロボット関連6団体で構成されている「建設ロボット研究連絡協議会」と「（公社）土木学会建設用ロボット委員会」の共同主催による「建設ロボットフォーラム2013」を開催することになりましたので、ここにご案内申し上げます。

我が国におけるロボット技術（RT）、情報処理技術（IT）などの急速な進歩は、従来極めて困難とされていた建設工事の分野における高度な自動化・ロボット化の実現を可能にし、建設分野における自動化・ロボット化への着実な歩みのもと、建設ロボットに対する社会的ニーズも高まり、その活用が強く望まれています。

また、現在も福島原子力発電所建屋内の内部調査をするロボットや、敷地内の大量ガレキ撤去に無人化施工システムが活躍しています。

このような背景のもと、震災復興に有効な建設機械へのロボット技術の活躍が期待されており、土木・建築をめぐる諸問題を踏まえて建設分野へのロボット導入の課題と将来を展望いたします。

特別講演として、国立極地研究所・石沢賢二先生に「南極観測隊で使用している各種車両と内陸用無人トラクターの開発」と題して南極大陸における内陸輸送自動化システムについてのご講演を頂く予定です。

関連する各分野における関係各位の積極的なご参加を頂きますよう、お願い申し上げます。

~~~~~ 建設ロボットフォーラム 2013 参加申込書 ~~~~~

\* 必要に応じて申込書をコピーし、1人1葉でFAX(又はE-mail:forum@jara.jp)にてお申し込み下さい。

一般社団法人日本ロボット工業会 建設ロボットフォーラム事務局 行 (FAX:03-3578-1404)

申込締切：平成25年9月30日（月）必着

|                 |                                                            |
|-----------------|------------------------------------------------------------|
| (フリガナ)<br>機 関 名 |                                                            |
| 所 属 ・ 役 職       |                                                            |
| (フリガナ)<br>氏 名   |                                                            |
| 住 所             | 〒                                                          |
| TEL             |                                                            |
| FAX             |                                                            |
| E-mail          |                                                            |
| 必要書類            | 必要なものに○をお付け下さい。<br>1. 請求書      2. 見積書      3. 納品書      通ずつ |

なお、お申込を確認の後、参加費のお振込銀行口座をお知らせするとともに必要書類・登録証をお送り致します。

＜裏面プログラム＞

－ プログラム －

(都合により講演題目等の一部変更があることをお断りいたします。)

13:00－13:10 <開会挨拶(10分)>

建山和由(立命館大学/土木学会建設用ロボット委員会委員長/建設ロボット研究連絡協議会副会長)

13:10－14:10 <特別講演(60分)>

題目:南極観測隊で使用している各種車両と内陸用無人トラクターの開発

講師:石沢賢二氏(国立極地研究所)

要旨:日本の南極観測隊は、昭和基地から約1,000Km離れた内陸基地も維持しており、効率的な物資の輸送などに多くの課題を抱えている。それに使用される各種車両などの問題点を述べ、無人トラクターの開発について紹介する。

14:10－15:00 <土木分野(50分)>

題目:メンテナンスロボットの開発と災害対応への取り組み

講師:大石直樹氏(新日鐵住金(株))

要旨:平時には社会インフラや生産設備の維持管理に必要な点検・メンテナンスを行わせ、発災時には被災者探索・設備状況把握への活用にも資することのできるロボットの機能面・運用面における課題などについて報告する。

15:00－15:10 <休憩(10分)>

15:10－16:00 <建築分野(50分)>

題目:(仮称)赤坂プリンスホテルの解体工法

講師:市原英樹氏(大成建設(株))

要旨:特殊な超高層ビル解体工法により、グランドプリンスホテル赤坂(旧赤坂プリンスホテル)の最上部から徐々に解体していく工法について紹介する。

16:00－16:50 <ロボット分野(50分)>

題目:(仮称)災害対応ロボット

講師:小柳栄次氏(千葉工業大学)

要旨:これまでに開発したレスキューや原発対応ロボットの開発趣旨や技術内容、および今後の建設ロボット開発に関わる課題などについて紹介する。

16:50－17:00 <シンポジウム案内、閉会挨拶(10分)>

新井健生(大阪大学/建設ロボット研究連絡協議会会長/土木学会建設用ロボット委員会委員)

<<問合せ先・申込先>>

一般社団法人日本ロボット工業会 建設ロボットフォーラム事務局

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館

TEL:03-3434-2919、FAX:03-3578-1404、E-mail:forum@jara.jp